

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

当事者A	年齢[48]歳、勤続年数[30]年、現場経験年数[30]年、階級[司令補]、同様の活動[初めて]、任務[車長]
当事者B	年齢[43]歳、勤続年数[23]年、現場経験年数[23]年、階級[司令補]、同様の活動[初めて]、任務[隊員]
当事者C	年齢[26]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[8]年、階級[消防士]、同様の活動[初めて]、任務[]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	C	救急車を高速道路を運転中	
経過2	救急車が故障		電気システムのトラブル ・ライト系が暗くなる。
経過3	A	車両状況を把握、道路公団、消防本部へ状況を報告	救急応援出動依頼する。
経過4	B	傷病者へ状況説明	
経過5	C	何とか走行できる状況であったためICまで走行	安全運行
経過6	A	ICで道路公団関係者状況報告	ICで救急車走行不能状態
経過7	B	応援救急車へ患者を引き継ぐ	
経過8	A	修理業者へ状態説明、修理依頼する。	
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思いませんか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思いませんか？

集中力、注意力があった。指揮者が適切に指示した。他隊(員)との連携活動がうまくいった。たまたま、負傷事故にならなかった。

心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	はい
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

その他

l . その他の理由があった。

はい：1年前に修理済であったため、故障するとは思っていなかった。
